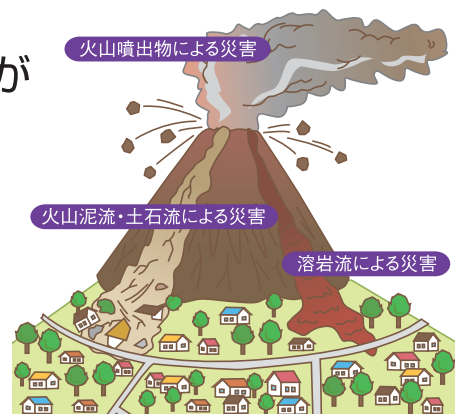


起こりうる災害を知ろう。

火山災害編

鳥海山は、今まで何度も噴火している活火山です。噴火活動は1974(昭和49)年を最後に記録されていませんが、現在も常時観測が続けられています。



融雪による火山泥流・降灰・土石流に注意!噴火活動が大規模になった場合は溶岩流が発生する可能性も。

雪の多い時期に噴火が起きたとき、熱い噴出物が火口周囲の大量の雪を溶かし、溶けた水と土砂、岩石が一体になって流れ下るのが、融雪による火山泥流です。一方、雪の少ない時期に噴火が起き、火口周囲や斜面に積もった火山灰がその後の雨によって回りの土砂や岩石を巻き込みながら流れ下るのが土石流です。鳥海山では、噴火の際にこれらの現象が発生する可能性があります。しかし、もし鳥海山の噴火が始まり、その活動が大規模なものに移行していった場合、地質調査などから推定される過去の実績から、溶岩流が流れ出す可能性も考えられます。

もし噴火がはじまったら

- 気象台が発表する「噴火警報等」に注意しましょう。
- テレビやラジオ、新聞、市の広報などから正しい情報を入手しましょう。
- デマやうわさに惑わされないようにしましょう。
- 市長から避難勧告などの指示があった場合は従いましょう。

噴火警報

気象庁は、火山災害軽減のため、全国110の活火山を対象として噴火警報を発表しています。噴火警報は、生命に危険を及ぼす火山現象(大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等、避難までの時間的猶予がほとんどない現象)の発生やその拡大が予想される場合に「警戒が必要な範囲」(生命に危険を及ぼす範囲)を明示して発表します

避難時はヘルメットをかぶり、ゴーグルやマスクで火山灰を防ぐ

避難時は、熱風や降下火砕物から身を守るために、長袖長ズボン、ジャンパーなどの上着を着用しましょう。噴石に備えてヘルメットをかぶり、火山灰を防ぐためにゴーグルやマスクを装着しましょう。火山灰や泥水の中を歩いても滑らないように、頑丈で歩きやすい靴を履きましょう。



詳しくはこちら [酒田市ホームページ\(鳥海山火山防災ガイド\)](http://www.city.sakata.lg.jp/ou/somu/somu/kikikanri/1020.html)

起こりうる災害を知ろう。

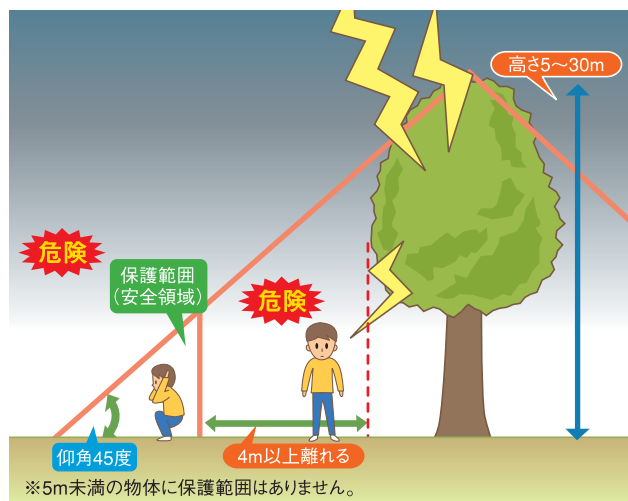
落雷編

雷が近づいてきたら、建物や車の中に避難しましょう!

雷から身を守るには、建物、自動車などに逃げ込めば、まず安全です。ただし、避雷針がない建物の場合、雷の高電圧が電気配線を伝わってくる可能性があるため、天井、壁、柱から1m以上離れたところで低い姿勢を保ちましょう。同様の理由で、電化製品や固定電話からも離れた方が良いでしょう。また、雷の高電圧は、水道管や配水管からも伝わるため、炊事や入浴も控えましょう。

避難する建物などがいないときは。

近くに建物などがいないときは、電柱、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げ、4m以上(コンクリート電柱は2m)離れた範囲(保護範囲)に退避します。高い木の近くは危険ですから、木の全ての幹、枝、葉から4m以上離れ、姿勢を低くして身を守りましょう。



非常持出品・備蓄品

非常持出品

避難するとき持ち出す最小限の必需品。あまり欲ばりすぎないことが大切です。重さの上限は男性で15kg、女性で10kg程度。背負いやすいリュックサックにまとめておきましょう。

※できれば各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に保管を。玄関付近や車のトランクなどにも分散して保管しておく。

避難・生活用品	
<input type="checkbox"/>	懐中電灯(できれば一人一つ。予備の電池と電球も)
<input type="checkbox"/>	ヘルメット(防災ずきん)、帽子
<input type="checkbox"/>	ホイッスル、ブザーなど(音を出して居場所を知らせる)
<input type="checkbox"/>	スリッパ、運動靴
<input type="checkbox"/>	万能ナイフ
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(ビニール製ゴミ袋)
<input type="checkbox"/>	レジャーシート、アルミ製保温シート
<input type="checkbox"/>	軍手、皮手袋
<input type="checkbox"/>	毛布、ブランケット
<input type="checkbox"/>	携帯トイレ
<input type="checkbox"/>	ろうそく(安定のよいもの)
<input type="checkbox"/>	ライター(マッチ)
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ
貴重品・必需品	
<input type="checkbox"/>	現金(小銭も多めに。公衆電話の利用に10円玉も)
<input type="checkbox"/>	予備のメガネ、コンタクトレンズなど
<input type="checkbox"/>	車や家の予備鍵
<input type="checkbox"/>	健康保険証(コピー可)
<input type="checkbox"/>	預貯金通帳(コピー可)
<input type="checkbox"/>	身分証明書(免許証、パスポートなど)
<input type="checkbox"/>	印鑑
水・食料	
<input type="checkbox"/>	飲料水(1日3リットルが目安。重くなる場合は一部を家に備蓄)
<input type="checkbox"/>	非常食(火を通さずに食べられるもの。比較的軽い乾燥食品など)

情報収集用品	
<input type="checkbox"/>	携帯電話(充電器も)
<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ
<input type="checkbox"/>	緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
<input type="checkbox"/>	筆記用具
救急・衛生用品	
<input type="checkbox"/>	救急セット
<input type="checkbox"/>	常備薬、常用している薬(おくすり手帳もあるとよい)
<input type="checkbox"/>	タオル
<input type="checkbox"/>	三角巾
<input type="checkbox"/>	トイレトペーパー
<input type="checkbox"/>	ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/>	マスク(防じんマスク)
<input type="checkbox"/>	歯ブラシ
その他	
<input type="checkbox"/>	紙おむつ(乳幼児用、高齢者用など)
<input type="checkbox"/>	粉ミルク、ほ乳びん、離乳食など
<input type="checkbox"/>	生理用品
<input type="checkbox"/>	母子健康手帳
<input type="checkbox"/>	身体障害者手帳など
<input type="checkbox"/>	着替え(下着も含む)
わたしが必要なもの、わが家で必要なもの(自由に記入)	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

非常備蓄品

災害復旧・物資流通までの数日間を自活するためのもの。ライフラインの途絶を想定し、最低でも2日分、できれば3日分自力でしのぐ用意をしましょう。

水・食料	
<input type="checkbox"/>	飲料水(1日3リットルが目安)
<input type="checkbox"/>	レトルト食品(ご飯、おかゆ等)、アルファ米
<input type="checkbox"/>	インスタントラーメン、カップみそ汁
<input type="checkbox"/>	ドライフーズ等(チョコレートや給なども)
生活用品等	
<input type="checkbox"/>	給水用ポリ容器
<input type="checkbox"/>	カセットコンロ(予備のガスボンベも)
<input type="checkbox"/>	固形燃料
<input type="checkbox"/>	毛布
<input type="checkbox"/>	ティッシュ、ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(ビニール製ゴミ袋)
<input type="checkbox"/>	ラップ
<input type="checkbox"/>	紙皿、紙コップ、割りばし等
<input type="checkbox"/>	簡易トイレ
<input type="checkbox"/>	長靴

生活用品等	
<input type="checkbox"/>	工具セット
<input type="checkbox"/>	ロープ
<input type="checkbox"/>	洗面用具
<input type="checkbox"/>	ドライシャンプー
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/>	さらし
<input type="checkbox"/>	布製ガムテープ
<input type="checkbox"/>	新聞紙
<input type="checkbox"/>	自転車
<input type="checkbox"/>	反射式ストーブ(灯油も)、うちわなど
わたしが必要なもの、わが家で必要なもの(自由に記入)	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

阪神・淡路大震災や新潟中越地震、東日本大震災では、こんなものが役に立ちました

ドライシャンプー、ウエットティッシュ、ホイッスル、ポリ容器、携帯コンロ、ボール、常備薬、予備の眼鏡・補聴器、乾電池、軍手、ラップ、車用や手動の携帯充電器、ビタミン剤など。

消火・救助用具も忘れずに

地震発生後の火災や家屋の倒壊などに備えて、消火器などの消火用具や救出活動に使える工具類も用意しておく。

消火器、バケツ、風呂の水のくみ置きなど、スコップ、ボール、のこぎり、車のジャッキなど。